

町田市民病院

「中期経営計画（2012年度～2016年度）」（案）

パブリックコメント実施結果

町 田 市

町田市民病院「中期経営計画(2012年度～2016年度)」(案)の パブリックコメント実施結果

市民病院では、2008年度に策定した「町田市民病院中期経営計画(2008年度～2011年度)」に基づき、様々な取組を実施してきました。今後も地域で果たすべき役割や具体的な事業運営の目標を明確にし、市民病院の経営健全化を推進するため「町田市民病院中期経営計画(2012年度～2016年度)」の策定に向けた検討を進めてきました。策定にあたって、より多くの市民の方にご意見を伺いたいと考え、ご意見を募集しました。

I. ご意見の募集期間

2011年10月11日～11月10日

II. ご意見の募集方法

- 「広報まちだ 10月11日号」に案の概要を掲載
- 10月11日より町田市ホームページ・町田市民病院ホームページに案の詳細を掲載
- 経営企画室(町田市民病院4階)、市民相談室(町田市役所本庁舎1階)、市政情報やまびこ(町田市役所中町分庁舎1階)、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)、各市民センター、木曽山崎・玉川学園文化の各センター、町田・南町田の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館での資料配布・閲覧

III. 問い合わせ先

町田市民病院事務部経営企画室

〒194-0023

町田市旭町2丁目15番41号

電話 042-722-2230(内線7431～7433)

FAX 042-720-5680

※ ご意見の概要と市の考え方は次ページ以降をご覧ください。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は要約し掲載しています。

町田市民病院「中期経営計画(2012年度～2016年度)」(案)に対するご意見の概要と市の考え方

■ご意見の内訳

14人の方から延39件のご意見をいただきました。

内 訳	件 数
事業運営の具体的取組について	23
サービス向上に関する取組	13
収支改善に関する取組	7
経営基盤強化に関する取組	1
人材育成・確保に関する取組	2
財政計画について	3
定員管理計画について	1
その他	12

■ご意見の概要と市の考え方

○これまでの中期経営計画の進捗状況について(2件)

ご意見の概要	市の考え方
小児二次救急の再開、外来化学療法センターの充実、高度医療機器の土曜日稼働、患者の待ち時間対策については良いと思います。	質の高い医療サービスを提供し、安定した病院経営を維持していくために、ここに改めて中期経営計画(2012年度～2016年度)を策定し、これに基づき、より一層の経営改善を推進してまいります。
全部適用による成果について検証してほしい。また、経営形態の変更を考えているか問いたい。	全部適用の機動性、効率性を生かし、中期経営計画(2008～2011年度)に基づき、着実に改善を実現しています。 地方公営企業法全部適用に移行して以来、経営状況は順調に改善しており、現在のところ経営形態の変更は考えていません。 しかし、病院経営のあり方について、常に様々な可能性を研究していくことは重要なことだと認識しております。

○計画の位置付けについて(1件)

ご意見の概要	市の考え方
市民病院の在るべき姿を医療環境の見込も併せて説明してほしい。	町田市民病院は、二次医療、救急医療、高次医療などの医療機能を確保し、地域の病院や診療所と連携し、安心・安全な医療を推進しています。 今後も、疾病構造の変化に対応すべく、広く行われている標準的な医療を安定的に確保するとともに、かかりつけ医と他の病院とのネットワーク化を推進することにより、地域全体の医療体制を充実させる必要があります。

○救急診療体制の充実について（2件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>医師会との意思疎通、市民に対する救急機関利用の啓蒙活動を積極的に実施し、二次救急、小児救急を充実してほしい。 （同様1件）</p>	<p>市民病院は、「東京都指定二次救急病院」として一層の救急体制の充実に努めます。また、小児一次救急についても、引き続き医師会、町田市と協議を進めてまいります。 なお、市民の皆様には、これまでの院内掲示や病院報、市民病院ホームページによる啓蒙活動だけでなく、市民向け公開講座等を利用し適切な救急利用の呼びかけを行ってまいります。</p>

○医療連携の推進について（6件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>第1次計画に掲げている地域医療支援病院の指定を引き続き目指してほしい。 （同様1件）</p>	<p>引き続き、中期経営計画（2012年度～2016年度）でも地域医療支援病院の指定要件である紹介率60%、逆紹介率30%を目指して取り組んでまいります。</p>
<p>紹介率、逆紹介率が地域医療支援病院の基準に達していないので、市民病院とかかりつけ医の役割分担を明確にし、一層の連携強化を望む。 （同様1件）</p>	<p>現在の中期経営計画に引き続き、中期経営計画（2012年度～2016年度）でも地域医療支援病院の指定要件である紹介率60%、逆紹介率30%を目指して取り組んでまいります。 市民病院とかかりつけ医の役割については、町田市、医師会と共同し市民への周知を図るとともに、一層の連携の強化を図ります。</p>
<p>市民病院の二次医療機関としての認知度が低いため、かかりつけ医との役割分担が理解できるように市民にPRしてほしい。</p>	<p>市民病院ホームページ、病院報などでPRの充実を図ります。 また、市民向け公開講座など様々な機会でも市民病院が二次医療機関であることを積極的に広報することにより、市民病院とかかりつけ医の役割分担の周知を図ります。</p>
<p>患者が急性期医療を終えて在宅療養に移行する際の連携を強化してほしい。</p>	<p>市民病院では退院される患者様に対して、他院への転院や在宅療養への移行の際の支援を、医療ソーシャルワーカーが地域の医療機関や介護事業者等と連携し進めております。</p>

○災害拠点病院としての機能の充実について（2件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>災害時における患者受け入れ態勢の整備、医療従事者の確保、地域医療機関との連携などの整備に積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>災害拠点病院として十分に機能が発揮できるよう、ご意見を参考にに取り組んでまいります。</p>
<p>災害（停電）時に救急の受入を休止することのないように、非常用電源の容量を増やしてほしい。</p>	<p>非常用発電設備は更新計画を策定し、発電容量の増加を計画しております。</p>

○患者満足度の向上について（2件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>病院からの情報発信に努めるとともに、市民の声を受け止めてサービス向上に努めてほしい。 （同様1件）</p>	<p>定期的な患者満足度調査の結果や、日々寄せられるご意見やご要望を踏まえてサービス改善に努めてまいります。</p>

○その他サービス向上に関する取組について（1件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>医師会などと共同で、地域における緩和ケア療法の普及、認知症の早期発見に関する事業を推進してほしい。</p>	<p>市民病院では「緩和ケア委員会」に医師会の代表者に参加いただき当院の緩和ケア病棟の運営について定期的に検討を行っています。</p> <p>また、当院では、認知症の早期発見を目的として頭部MRIなどを用いた「ものわすれ・認知症検査」を実施しております。</p>

○病床の安定的稼働について（3件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>2016年度の病床利用率の目標については86%の予定とのことであるが、医療収入の増加のためには病床利用率の向上が必要である。また、十分な受け入れ態勢が取れているか説明してほしい。 （同様2件）</p>	<p>2010年度の病床利用率は83.9%でした。これを徐々に引き上げることにより、2015年度の黒字化を目指します。</p> <p>併せて、高い病床利用率を維持し、サービス向上に努めるために、引き続き看護師をはじめとした医療職の確保を図ってまいります。</p>

○診療単価の上昇について（2件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>診療単価の上昇策について具体的に説明してほしい。 （同様1件）</p>	<p>医療動向を見極めながら、加算、管理料、指導料を取得するなど、当院の持つ診療機能に見合った診療報酬請求を徹底し、診療単価の上昇につなげます。</p>

○薬品費の削減について（1件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>ジェネリック薬品の採用数を目標としているが、金額に換算すべきではないか。</p>	<p>金額であらわす方法は、薬価の変動があったときにその成果が見えにくくなるため、品目数を指標にいたしました。</p>

○省エネ活動の推進について（1件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>電気・ガス・水道使用量の節減による削減効果を金額で明示してほしい。また、人為的な節約方法を具体的に示してほしい。</p>	<p>基本契約の見直しをしている点や、月によって単価の変動があるため金額での比較は難しい点があります。</p> <p>節約方法はエレベータの間引き運転や、照明の間引きなど行っております。</p>

○経営基盤の強化に関する取組について（1件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>各診療科の年度毎の運営目標とは何か、具体的に説明してほしい。</p>	<p>年度毎の病院の事業計画や診療実績に基づき、治療内容や医療連携等に関する各診療科の年度の運営目標をいいます。</p>

○人材育成・確保に関する取組について（2件）

ご意見の概要	市の考え方
看護師の確保は、チーム医療と7対1入院基本料の維持に不可欠のものであり、あらゆる方策で積極的に推進してほしい。	看護師の確保は、病院としても積極的に取り組んでおります。ご意見の趣旨を踏まえ、今後も安定確保に向けて努めてまいります。
医療従事者の育成・確保については、手当だけでなく、労働環境の改善について更に検討してほしい。	医療従事者を確保、育成していくことは、安定した医療を提供していく上で、重要であると考えております。 労働環境の改善を推進するとともに、指導・教育体制をより一層強化し、質の高い医療の提供にも努めてまいります

○財政計画について（3件）

ご意見の概要	市の考え方
医業収益算出の根拠となる患者数、診療単価、病床利用率を明示してほしい。	2016年度の数値は入院患者384人／日、外来患者1,300人／日、入院単価53,500円、外来単価9,500円、病床利用率86%を見込んでいます。 この数値を目指して、毎年度、着実に目標に近づけていく計画としています。
1床あたり繰入金は他の病院と比較して高水準にあるため、その背景について説明してほしい。	新棟建設による減価償却費、企業債償還金が多額にあることがあげられます。 医療機器などの償却が終了し、さらに収支が改善すれば繰入額も逡減する見込みです。
医業収益対各費用比率の逡減に向けて、費用の一層の合理化を図ってほしい。	ジェネリック医薬品の採用促進や委託料などの節減により費用の合理化を図ってまいります。 診療体制に対応した人員配置の充実や東棟に係る修繕費などで給与費や経費は一定額が必要となる見込みです。

○定員管理計画について（1件）

ご意見の概要	市の考え方
定員管理計画における定数と常勤職員配置目標数との関係を職種別にわかりやすく説明してほしい。	医師については、現在常勤医が不在である耳鼻咽喉科を含め、小児科、新生児科、麻酔科等の追加配置を考えております。 また、医療技術職については、チーム医療の推進のためリハビリ関係や薬剤師などを増員し、看護師においては、多様な勤務形態の実現などにより必要数の確保を目指します。 しかし、全国的に医師、看護師は不足しており、常勤職員のみで必要数を確保することは困難な状況です。当面は、非常勤職員を含めた配置を考えております。

○その他（9件）

ご意見の概要	市の考え方
鶴川から市民病院に通うには乗り換えが多いので、鶴川から市民病院までの直通バスの運行を希望します。 （同様8件）	市の交通計画担当部門を通じて、バス事業者に引き続き要請を行ってまいります。